

日本経済入門Ⅱ

科目ナンバリング ECP-102
選択必修 2単位

富田 秀昭

1. 授業の概要(ねらい)

新聞・テレビ・インターネットなどを通じて、皆さんは日々たくさんの経済関連ニュースを目にしていることでしょう。この授業では、理論やデータを用いて、日本経済に関する実態について学ぶことを目的とします。

「日本経済入門Ⅱ」においては、理論とデータに基づいて、日本経済における財政・金融の現状とともに政策の実態について理解し、日本的雇用慣行や日本人の働き方の特徴について学びます。

2. 授業の到達目標

- ① 理論やデータを活用して、日本経済における財政・金融の現状を説明できる。(知識・理解)
- ② 日本における伝統的金融政策と非伝統的金融政策の違い、財政政策の実態を説明できる。(汎用的技能)
- ③ 高度成長期に形成された日本的雇用慣行や日本人の働き方の特徴を諸外国と対比して説明できる。(態度・志向性)

3. 成績評価の方法および基準

- (1)小テスト(到達目標①、②、③) 30%(重要な概念や用語の理解を問うもので、計3回、不定期に実施)
 - (2)課題レポート(到達目標③) 10%
 - (3)期末試験(到達目標①、②、③) 60%(全範囲を対象として理解度を問うもので、最終授業時に実施)
- ・小テスト・課題レポートの講評、解説については、次の授業時間内で実施します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

浅子和美・飯塚信夫・篠原総一 『入門・日本経済(第6版)』 有斐閣、2020年
大守隆 『日本経済読本(第22版)』 東洋経済新報社、2021年

5. 準備学修の内容

- (1)事前に参考書の関連部分を熟読し、疑問点などをチェックして授業に臨んでください。
- (2)授業内容の要点を記載したレジュメを毎回配付するほか、必要に応じて配付する最新経済データに基づいて、日本経済を理解するために必要な経済学の考え方を丁寧に解説することを心掛けるつもりです。帰宅してから、その日の授業で学修した内容を見直すなど、復習に重点を置いて取り組んでください。
- (3)配付するレジュメは空欄穴埋め方式とするので、授業を聴きながら該当箇所に用語を記入していくこと(レジュメの完成版は次の回の授業で配付します)。

6. その他履修上の注意事項

- (1)入門レベルの日本経済について体系立てて理解するため、「日本経済入門Ⅰ」からの連続履修を希望します。
- (2)授業中の私語など、他の受講者に迷惑を掛ける行為があった場合には、成績評価に際して大幅減点、あるいは不合格とすることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 <ガイダンス>
授業目的、授業方法、成績評価、準備学修および授業内容について
- 【第2回】 <講義> 日本の金融(1):金融システム
- 【第3回】 <講義> 日本の金融(2):マクロモデルと金融①
1)IS-LMモデル
2)IS曲線の導出
- 【第4回】 <講義> 日本の金融(3):マクロモデルと金融②
1)LM曲線の導出
2)IS-LM分析
- 【第5回】 <講義> 日本の金融(4):貨幣供給のメカニズム
- 【第6回】 <講義> 日本の金融(5):金融政策の概観① — 伝統的金融政策
- 【第7回】 <講義> 日本の金融(6):金融政策の概観② — 非伝統的金融政策
1)ゼロ金利政策
2)量的緩和政策
- 【第8回】 <講義> 日本の金融(7):金融政策の概観③ — 非伝統的金融政策
1)包括的な金融緩和政策
2)量的・質的金融緩和
- 【第9回】 <講義>(オンライン授業) 日本の財政(1):政府・財政の役割
- 【第10回】 <講義> 日本の財政(2):財政の仕組み
- 【第11回】 <講義> 日本の財政(3):財政赤字と財政の持続可能性
- 【第12回】 <講義> 日本の労働市場(1):日本の労働市場と日本的雇用慣行
- 【第13回】 <講義> 日本の労働市場(2):日本的雇用慣行の問題
- 【第14回】 <講義> 日本の労働市場(3):女性の就労とこれからの働き方
- 【第15回】 <まとめ>
1)授業の総括
2)期末試験